

**初めての競りを体験**  
松前町港祭

5月3日、松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前町港祭」が瀧姫神社周辺で開催されました。会場では、餅まき、マグロの解体ショー、魚のつかみどりなどのほか、はんぎり体験が行われ、多くの人でにぎわいました。また、子どもを対象とした子どもによる競りが行われ、祭りの前日に子どもたちが釣ったヒラメやスズキが披露されました。競りに参加した子どもたちは、購入したい値段を大きな声で叫び、次々に競り落としていました。



**レンゲ畑で笑顔も満開**  
恵久美地区レンゲ畑

恵久美環境保全会は4月24日、同地区内のレンゲ畑に、白鶴保育所の園児とデイサービスさくらの利用者を招待しました。園児たちは、レンゲ畑を走り回ったり、きれいに咲いているレンゲを摘み取ったりしました。また、デイサービスさくらの利用者に歌のプレゼントをして、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



**長年の功績をたたえて**  
民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰

「令和7年度民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰」の伝達式は4月23日、役場で行われ、本町から河野初美さん(写真㊸)、三好清春さん(欠席)、篠永真弓さん(写真㊹)の3人が表彰を受けました。この表彰は、多年にわたり民生委員活動に精励され、その功績が顕著である人が対象となる大臣特別表彰です。今回は、厚生労働大臣に代わり、町長から表彰状を伝達しました。



**義農精神を後世へ**  
令和8年度義農祭

4月23日、義農神社で、わが身を犠牲にして後世に麦種を残した義農作兵衛の遺徳をしのび「義農祭」が開催されました。式典の後、「松前町表彰」が行われ、西村元一さん、三好清春さんの2人が表彰を受けました。これは町政と町民の福祉の発展に寄与し、その功績が顕著な人を表彰するものです。また、ふる里市と餅配りは雨天のため、松前公園体育館で行われました。新鮮な野菜・果物などが販売され、多くの人でにぎわいました。



▲大満



▲東古泉



▲徳丸

**五穀豊穡を願って**  
北伊予地区春祭り

4月29日、北伊予の各地域で春祭りが開催されました。神事のあと、子どもたちによる奉納相撲が行われました。これは子どもたちが無垢な心で大地を踏みしめることにより、五穀豊穡を願うことを目的に行われているものです。

子どもたちは普段は上がることのない土俵で、楽しそうに相撲を取っていました。



▲中川原

**各地区で全力の運動会**  
恵久美・北川原運動会

4月19日、恵久美グラウンドで「第44回恵久美三代交流大運動会」が、5月10日、岡田小学校体育館で「第36回北川原分館運動会」が開催され、それぞれ住民約200人が参加しました。

恵久美地区では、8チームに分かれ、綱引きや組別対抗リレーなど13種目が行われました。プログラムの1つの「縄ない競争」は、「地域の伝統を若い人にも知ってほしい」という思いから行われているものです。子どもたちは、地域の人から縄の結び方を教わり、どのチームが一番長く縄を拘うことができるかを競争しました。

北川原地区では、6チームに分かれ、輪投げやパン食い競争など10種目が行われました。カーリングに似た「カローリング」は、「ジェットローラー」と呼ばれるタイヤのついた円盤を高得点のラインを目掛けて一斉に投げつける競技です。チームのメンバーは、投げ終わった人に拍手やハイタッチをして、健闘をたたえていました。

どちらの地区も、子どもから高齢者まで地域で一体となって楽しみ、世代を超えた交流が深まる運動会となりました。



㊸綱引き(恵久美)

㊹カローリング・輪投げ(北川原)



## 「松前ってなんかいいよね」

愛媛まさき町観光物産協会「ヒト・コト Diary」

一般社団法人愛媛まさき町観光物産協会は5月1日、Webマガジン「ヒト・コト Diary」を創刊しました。この町で泥臭く真っすぐがんばる人(ヒト)と日常(コト)にスポットを当て、「身近にあるものが、実はすごくいいものだった」を発信していきます。

第一弾の記事は5月8日に公開され、関連する特産品などが数量限定で購入できるウェブサイト「ヒト・コト GIFT」も同時にオープンしました。

「ヒト・コト Diary」のホームページはこちら▶



## 大きく手を上げて渡ろう

岡田小学校 交通安全教室

5月12日、岡田小学校で1年生を対象に、伊予警察署、伊予交通安全協会と町交通安全指導員による「交通安全教室」が行われました。

児童たちは、横断歩道や線路の渡り方を、信号機などを利用しながら、警察官や岡田校区の交通安全指導員から学び、実践しました。児童たちは「横断歩道では手を上げて渡ることが大事だと思います」「安全に気を付けて道路を渡ります。ありがとうございました」とお礼の言葉を述べていました。

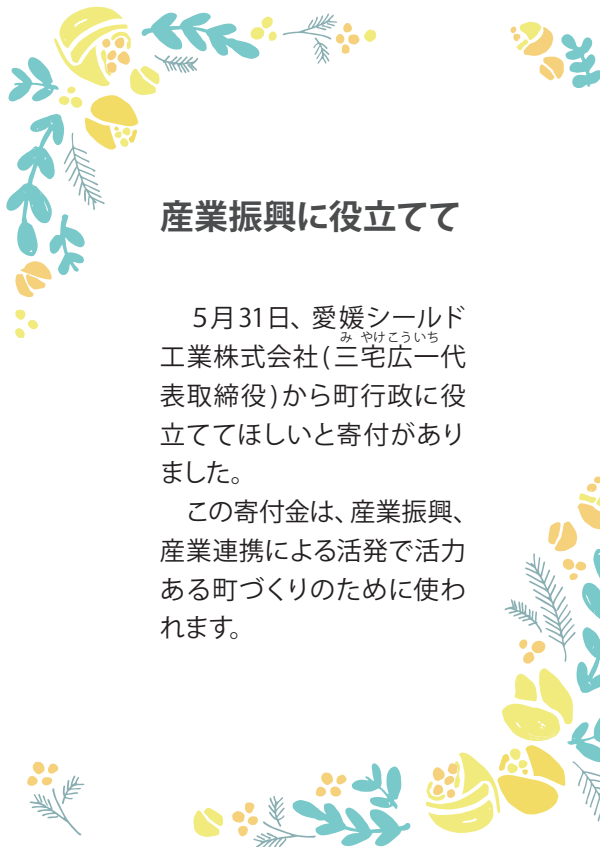


## 風水害から町を守るために

消防団・自主防災組織合同水防工法訓練

5月17日、「令和8年度松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練」が徳丸の二輪車公園西にある重信川左岸堤防で行われ、消防団、自主防災組織や松前消防署などから約300人が参加しました。

この訓練は、風水害による被害を最小限に食い止めることを目的に毎年行われているものです。自主防災組織は土のうを作り、構築する訓練を実践。消防団は堤防の漏水の噴出の勢いを抑え、漏水口の拡大を防ぎ、決壊を防止する「月の輪工法」を実施。防災への意識を高めていました。



## 産業振興に役立てて

5月31日、愛媛シールド工業株式会社(三宅広一代表取締役)から町行政に役立ててほしいと寄付がありました。

この寄付金は、産業振興、産業連携による活発で活力ある町づくりのために使われます。